

仲間とふれあう
私の生活。

柏ビビシジ 新樹会ニュース

7月号

2018年6月20日発行

発行人: 中村繁夫、編集人: 豊江雅幸



祝
30周年

ました。そして、いよいよ2018年5月25日(金)を迎えて、近隣センターにて10:00から第一部となる「30周年セレモニー」を実施したところ、90名を超える人々が参加し、会場はぎっしりの会員で埋めました。

「30周年セレモニー」は歓喜な雰囲気の中、森美智子副会長による「開会の辞」から始まり、中村繁夫さんによる「会長挨拶」が続きました。

続いて、本日のためにご多忙中駆けつけただきました柏ビビレジ自治会長の竹田徹様からご丁重なご祝辞を賜り、更に柏市シニアクラブ連合会の山田俊治副会長様から30周年のお祝いの言葉を頂戴いたしました。さて、新樹会は30周年を迎えるに当たって、「柏ビビレジ住民へ地域貢献活動として何ができるか?」を考えてまいりました。その結果、ビビレジ住民を襲う巨大災害が発生した場合、救援センターとなる自治会館での情報収集に欠かせないテレビセッター式を自治会に寄贈することとし、この目録を竹田自治会長にお渡しました。なお、このテレビセッターは既に自治会館2階和室に設置しております。

新樹会30周年記念イベントレポート

かねてよりご案内申し上げておりますが1987年に誕生した柏市老人クラブ連合会公認の柏ビビレジ新樹会は本年創立30周年を迎えることになりました。昨年4月に会長に就任した中村繁夫会長は、新樹会の「財政改善」と「30周年記念行事」を大きなテーマとして取り上げ、真剣に取り組んでまいりました。「財政改善」の方は3月実施の総会で年会費改定を決議しましたので、本年度に入つてからは残る「30周年記念行事」の準備に邁進をしてきま

ました。そして、いよいよ2018年5月25日(金)を迎えて、近隣センターにて10:00から第一部となる「30周年セレモニー」を実施したところ、90名を超える人々が参加し、会場はぎっしりの会員で埋めました。

「30周年セレモニー」は歓喜な雰囲気の中、森美智子副会長による「開会の辞」から始まり、中村繁夫さんによる「会長挨拶」が続きました。

続いて、本日のためにご多忙中駆けつけただきました柏ビビレジ自治会長の竹田徹様からご丁重なご祝辞を賜り、更に柏市シニアクラブ連合会の山田俊治副会長様から30周年のお祝いの言葉を頂戴いたしました。さて、新樹会は30周年を迎えるに当たって、「柏ビビレジ住民へ地域貢献活動として何ができるか?」を考えてまいりました。その結果、ビビレジ住民を襲う巨大災害が発生した場合、救援センターとなる自治会館での情報収集に欠かせないテレビセッター式を自治会に寄贈することとし、この目録を竹田自治会長にお渡しました。なお、このテレビセッターは既に自治会館2階和室に設置しております。

黄色い防犯キャラクター キャンペーンのご案内

最近の世相では、街の安全は自分たちで守るという動きが盛んになっています。新樹会では早くから柏市が主導してきた“エンジョイパトロール”的思想に共感し、黄色い防犯キャラップの登録及び着用促進を会員に呼びかけてしまいました。5月に新潟で発生した小学二年生の女児殺人事件のケースを持ち出すまでもなく、常日頃から防犯キャラップ着用者が見られる街では犯罪発生率が減少するという効果が実証されているそうです。

そこで、新樹会では黄色い防犯キャラップの登録・着用アップに一層努めることになりましたので、未登録者はこの機会にB面下の申込書を使って登録することをお勧めします。

“蔵の街” 柄木市 リゾートです

新樹会では、毎年春と秋に日帰り旅行を楽しんでおり、今回は5月29日(火)に、『“蔵の街”柄木市を観光遊覧船で楽しむ旅』を企画したところ、大型バスいっぱいの48名の会員から参加申し込みがありました。



絶好の行楽日和に恵まれた当日、8:00に近隣センター駐車場を出発したバスは外環道を経由して東北道を北上し、柄木ICを下車し“蔵の街”として有名な柄木市に入りました。最初は山車会館を始め柄木市内を散策し、昼食はサンプラザにて“ご当地グルメのバイキング”をいただきました。昼食後は、今回のツアーアーの目玉である巴波川(うずまがわ)の観光遊覧船を楽しむことになりました。通常



の日は田植え時期と重なって、水量が少なく8名ずつに分かれていれば乗船上から“蔵の街”的風情をエンジョイすることができます。2016年春の日帰り旅行で行った千葉県香取市の“佐原”の街に勝るものはない、丁寧に保存された歴史的な街並みの見事さに圧倒され続けました。最後は“佐野ラーメン”で有名なラーメン工場で試食をして帰路につきました。



(上の写真は、参加した子供たちと一緒に歩いたワイワイ・ウォーキングの一景です)

「新樹会で健康新樹会に」「新樹会で楽しむ」「新樹会で仲間づくり」